

科目名 「 薬理学・歯科薬理学 」

学年	学期	科目責任者
1	後学期	山根 潤一

学習目標 (GIO)	健康・疾病について、その成り立ちおよび予防と回復過程に関する知識を習得する。
担当教員	山根 潤一
教科書	最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 3 薬理学 (医歯薬出版)
参考図書	イラストでわかる 歯科医学の基礎 (永末書店)
評価方法 (EV)	平常試験、期末試験、レポート等により総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	薬理学では、カタカナの薬物名が多く、覚えきれないとあきらめてしまう場合がありますが、初出の時に間違えずに覚えるようにしましょう。後回しにするとますますわからなくなります。復習をしっかりとやりましょう。

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/ 2	総論1：薬理作用	<p>【授業の一般目標】 薬理作用の基本形式、薬物の作用機序、薬物の用量と作用、生体の感受性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A 薬理作用の基本形式を説明できる。 B 薬物の作用機序を説明できる。 C 薬物の用量と作用を説明できる。 D 生体の感受性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 薬理作用について説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第2回 10/16	総論2：薬理作用	<p>【授業の一般目標】 薬物の併用、薬物の連用、薬物の副作用・有害作用について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 E 薬物の併用を説明できる。 F 薬物の連用を説明できる。 G 薬物の副作用・有害作用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 薬理作用について説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一

第3回 10/23	総論3：薬物の適用方法と薬物動態	<p>【授業の一般目標】 適用方法、薬物動態、血中濃度推移について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 A 適用方法を説明できる。 B 薬物動態を説明できる。 C 血中濃度推移を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 薬物の適用方法と薬物動態について説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第4回 10/30	総論4：医薬品の分類 調剤	<p>【授業の一般目標】 日本薬局方および局方薬、毒薬・劇薬・普通薬、麻薬、医薬部外品、処方せん、配合変化、保存方法、剤形について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 A 日本薬局方および局方薬を説明できる。 B 毒薬・劇薬・普通薬を説明できる。 C 麻薬を説明できる。 D 医薬部外品を説明できる。 A 処方せんを説明できる。 B 配合変化を説明できる。 C 保存方法を説明できる。 D 剤形を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 医薬品の分類、調剤について説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第5回 11/6	中枢神経系に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 全身麻酔薬、催眠薬、向精神薬、抗てんかん薬、鎮痛薬、中枢神経興奮薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 A 全身麻酔薬を説明できる。 B 催眠薬を説明できる。 C 向精神薬を説明できる。 D 抗てんかん薬を説明できる。 E 鎮痛薬を説明できる。 F 中枢神経興奮薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 中枢神経系作用薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第6回 11/13	末梢神経系に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔薬、自律神経作用薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 A 局所麻酔薬を説明できる。 B 自律神経作用薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 末梢神経系作用薬物を説明できる。(60分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第7回 11/20	平常試験・解説講義	<p>【授業の一般目標】 第1回～第6回までの講義内容について試験をする。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】</p> <p>【準備学習項目・時間】</p> <p>【学習方略 (LS)】 筆記試験 講義</p>	山根 潤一
第8回 11/27	循環・呼吸系に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 循環・呼吸系に作用する薬物について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 A 循環系に作用する薬物を説明できる。 B 呼吸系に作用する薬物を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 循環・呼吸系に作用する薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一

第9回 12/4	血液に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 止血薬、抗凝固薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A 止血薬を説明できる。 B 抗凝固薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 血液に作用する薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第10回 12/11	抗炎症薬	<p>【授業の一般目標】 ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、抗ヒスタミン薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A ステロイド性抗炎症薬を説明できる。 B 非ステロイド性抗炎症薬を説明できる。 C 抗ヒスタミン薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 抗炎症薬を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第11回 12/18	ビタミン・ホルモン	<p>【授業の一般目標】 ビタミン、ホルモンについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A ビタミンを説明できる。 B ホルモンを説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 ビタミン・ホルモンを説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第12回 1/15	病原微生物に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 消毒薬、抗菌薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A 消毒薬を説明できる。 B 抗菌薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 病原微生物に作用する薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第13回 1/22	歯・歯髄疾患の治療に用いる薬物	<p>【授業の一般目標】 歯内療法薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A 歯内療法薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯・歯髄疾患の治療に用いる薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第14回 1/29	歯周疾患・口腔粘膜疾患に用いる薬物	<p>【授業の一般目標】 歯周病治療薬、口腔用薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A 歯周病治療薬を説明できる。 B 口腔用薬を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 歯周疾患・口腔粘膜疾患に用いる薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一
第15回 2/5	齶蝕予防に用いる薬物	<p>【授業の一般目標】 齶蝕予防薬について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 A フッ化物を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 齶蝕予防に用いる薬物を説明できる。(30分間)</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	山根 潤一